

至：登山口

金精神社

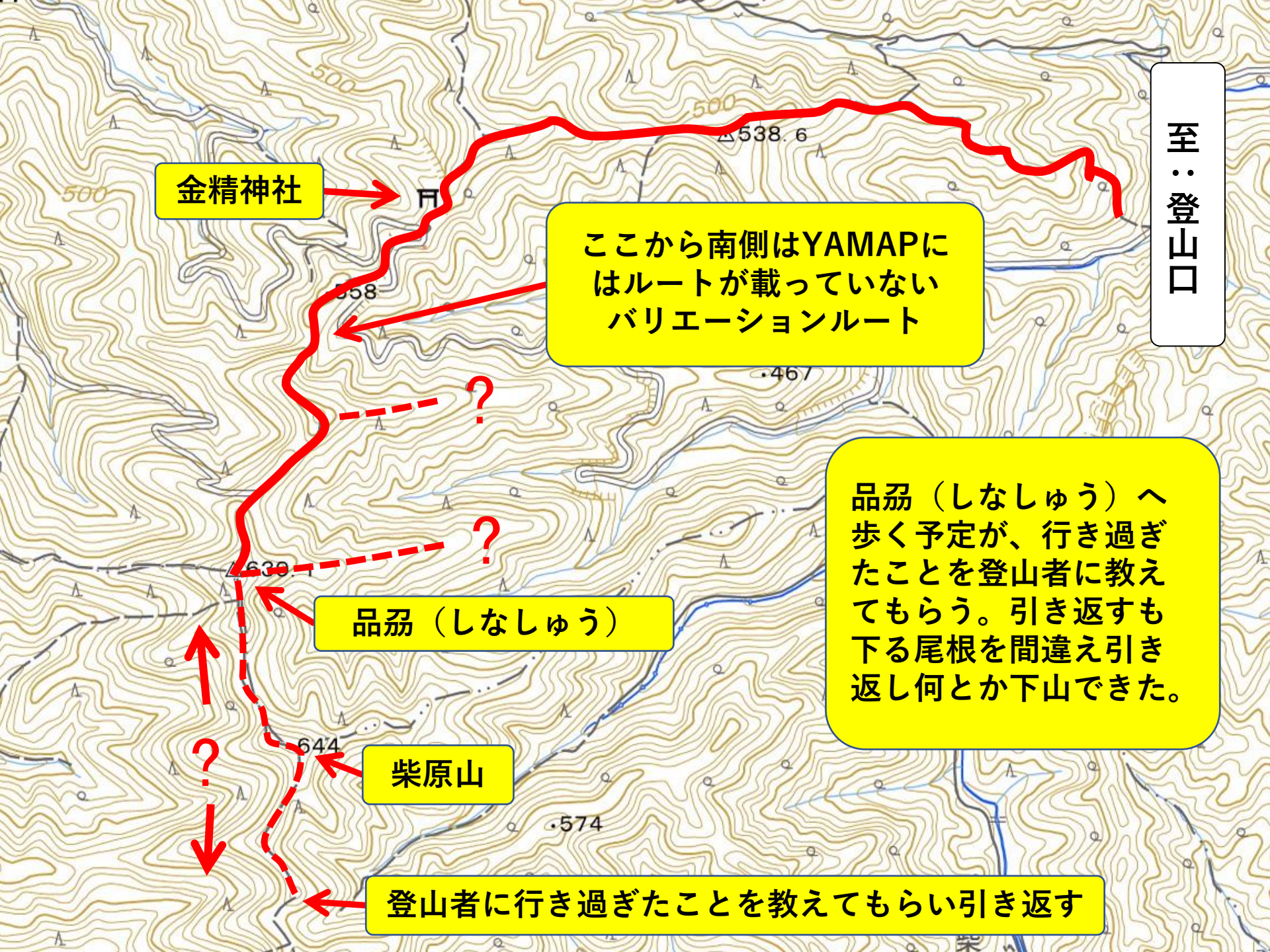
ここから南側はYAMAPにはルートが載っていない
バリエーションルート

品苧（しなしゅう）へ歩く予定が、行き過ぎたことを登山者に教えてもらう。引き返すも下る尾根を間違え引き返し何とか下山できた。

品苧（しなしゅう）

柴原山

登山者に行き過ぎたことを教えてもらい引き返す



文殊峠から品芻は標識は一か所のみでほぼなし、今回25000分の1の地図を忘れてしまいました。決行しましたが、柴原山を過ぎたところで、柴原山で休憩されていた方が追い付き聞いたら、すでに通り過ぎていたとのことでした。戻っている途中で別の尾根を下ってしまい、10分程下りたところで、あれ、こんなところだったかな？と不安になり、20分かけて元の峰に上がりました。そこが品シユウでした。下りる尾根が間違っていました。来るときもまき道を使ったのですが、ピークを通るべきでした。ピークなら覚えていたでしょうから。竜神山まで写真なんか撮る余裕はありませんでした。その余裕のなさが良くないですね。（HP参照）

「あれっ？おかしい？」と思ったところで、引き返した事例。道迷いの心理は、元の道に戻れないのだが、元の道に戻った行動がよかった。所々迷っているがその都度引き返している。

大きな地図の先読みをすると、「金神社」を通り過ぎないと下山する尾根にはいかないので、手前の尾根で道に迷っているのは、先読みが正しくできていないといえる。初めての場所でも先読みを正しく行えるようになると、行動にも根拠があるため安心して登山ができる。冷静さがあり、地図の先読みができる。そんな読図ができれば楽しい登山となるだろう。